

2024年度 ソーシャルワーク教育推進大会

大会テーマ

福祉人材育成・養成のための大学等を拠点とした プラットフォーム構築の可能性と課題

趣旨

少子高齢・人口減少社会に突入し、地域の知の拠点である大学の力を活用した地方創生が進められています。2021年以降の社会福祉士養成課程においても、地域共生社会実現の担い手となる社会福祉士の育成と福祉人材養成・育成を通じた地域課題解決が期待されています。しかし、一方で福祉系の専門学校・大学等への進学、卒後の福祉系への就職を希望する者は減少しています。

福祉人材不足の解消にもつながる、福祉人材養成・育成を通じた地域課題解決のための大学等を拠点としたプラットフォームの構築の可能性と課題とは何か。

2018年度から先行的に実施された、現任者の学び直しを含む社会福祉士養成・育成プラットフォームの構築と地域を基盤とした社会福祉士モデル実習の試行的事業（日本ソーシャルワーク教育学校連盟）からその意味と意義を学び、全国展開する上での工夫や課題について長野県における取り組みから考えます。

福祉人材育成・養成のための大学等とを拠点としたプラットフォーム構築は、対人援助の専門職の別を問わず、養成施設・養成校、社会福祉法人等の事業者、職能団体、行政、地域住民等の地域にかかわるすべての関係者の連携と協働を必要とします。今大会が地域における学び合いの場作りの一歩となることを願います。

開催日時・会場

参加費無料

2024年12月22日（日）13：00～16：00

ZOOMミーティング

プログラム

13:00 開会

ソ教育連関東甲信越ブロック運営委員長 船水 浩行（東海大学）

13:05～13:10 本日の流れ説明

13:10～13:55 基調講演

「包括的相談支援及び地域課題解決体制を担うソーシャル
ワーク人材養成・育成体制の構築並びにそのパイロット
事業の実施に関する調査研究事業」の意味と意義

渡辺 裕一氏（武蔵野大学 教授）

13:55～14:05 休憩

14:05～14:10 シンポジウム趣旨説明

14:10～15:10 シンポジウム

福祉人材養成・育成のための大学等を拠点とした
プラットフォーム構築の可能性と課題
—長野県の取り組みから考える—

- ①ソーシャルワーク養成校から考える 鈴木 由美子氏（長野大学 准教授）
- ②職能団体から考える 吉澤 利政氏（長野県社会福祉士会 会長）
- ③事業者から考える 井上 賢一郎氏（池田町社会福祉協議会 事務局長）

15:10～15:15 ディスカッション趣旨・論点説明

15:15～16:00 ディスカッション

16:00 閉会

対象者：日本ソーシャルワーク教育学校連盟会員校教職員、社会福祉
施設・社会福祉協議会等関係機関職員、医療機関・精神科医療機関の
ソーシャルワーカー、学校領域のソーシャルワーカー、その他ソーシ
ヤルワーク活動・ソーシャルワーク教育に関心のある方、学生



参加申し込み

下記のURL(peatix)より申し込みを行ってください。

<https://peatix.com/event/4177256>

ZoomのURLは上記に掲載します。
当日はそちらよりご入室ください。

申し込みの締め切りは、
12月18日（水）です。

【問い合わせ先】

本大会に関するお問い合わせは以下までお願いいたします。

ソ教連関東甲信越ブロック長野県支部
佐久大学 根本貴子 t-nemoto@saku.ac.jp

主催：日本ソーシャルワーク教育学校連盟関東甲信越ブロック
(開催主幹支部：長野県)

協力：長野県社会福祉士会、長野県社会福祉協議会